

日本の作曲家シリーズ XI 松本日之春個展

春・松本日之春

■企画・構成・作曲

松本日之春

■曲目

アルシファーズ VI b

花伝旅

パロフォニー

デュオ デュプレクス

なほあふことを (委嘱初演)

■出演

篠崎 功子 (ヴァイオリン)

菅原 淳 (パーカッション)

森田 利明 (クラリネット)

中川 昌三 (フルート)

村木ひろの (ピアノ)

他

■主催

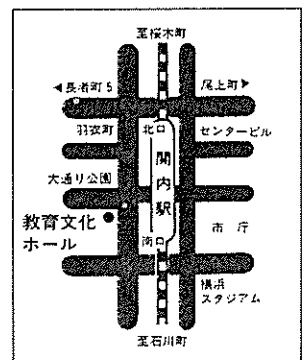
横浜市教育委員会



'88 **3月31日(木)** 午後7時開演
横浜市教育文化ホール

■申込方法

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・コンサート名を記入して
〒231 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター文化事業課へ。
応募多数の場合は抽選で500人無料招待。締切'88年3月18日(金)必着。
中学生以上の方に限ります。1枚のはがきで1人ずつ申込んで下さい。
開場は午後6時30分。◎問合せ 文化事業課 ☎045-671-3714~5



日本の作曲家シリーズは現代日本の優れた作曲家とその作品を紹介するため、毎年3月作曲家に新作とプロデュースを依頼して行っているコンサートです。第11回目の今回は、民音現代音楽祭などで活躍されている松本日之春さんをお願いしました。

生活空間には実にさまざまな音が散在している。そのなかには、イメージをひろげていくきっかけを与えてくれるような音がある。そしてひとつの音から、聴いた人の数だけ異なったイメージが生まれてくる。このような音を構成し抽象化している音楽の世界でも同じことがいえる。

多様な聴き手が多方向から捉えることができるように多面性をもつ音群から構成された、ピアノ音楽、邦楽、声楽、打楽器の為の音楽、室内楽とテープとの複合音楽。これらの異なったジャンルの5曲をプログラムした。

聴かれる人それぞれに、いろいろな場面で、思いもかけない時にめぐりあえることを期待しながら。

松本日之春：東京芸術大学大学院修了。在学中に毎日音楽コンクール、エリザベート国際音楽コンクールに入賞。1970年～1975年フランス政府給費留学生としてパリ国立音楽院に留学、作曲科と電子音楽科を首席で卒業。帰国後、吉原すみれ等とアンサンブル・ヴァンドリアンを結成。民音現代音楽祭にオーケストラ作品を委嘱され、東京・大阪で演奏。現在、東京芸術大学等で教鞭をとる。